

当院透析患者における認知機能評価と睡眠障害との関連- 糖尿病患者における傾向

医療法人衆和会 長崎腎病院

○井手真澄 山口由紀 白井美千代 丸山裕子 舩越 哲 原田孝司 澤瀬健次

【背景・目的】

認知症を有する患者には睡眠障害が多いという報告があるが、透析患者における報告は少ない。今回、糖尿病・非糖尿病の外来透析高齢患者に対し Mini Mental-State Examination (MMSE)に加えて、睡眠障害の有病率(睡眠障害)の調査を行った。

【方法】

当院の血液透析患者で 65 歳以上の外来患者 95 名を対象に、聞き取りでMMSEと睡眠調査(アテネ不眠尺度)を行い、糖尿病症例においては血糖コントロール因子との関連性についても調査した。

【結果】

MMSE スコアと睡眠障害の相関は糖尿病透析患者においてのみ見られた。糖尿病群について分析すると、グリコアルブミン (GA)と睡眠障害に弱い相関が見られた。また、MMSE27 以下の群において、血糖変動値は透析日・非透析日とも高値であった。

【考察】

認知症と睡眠障害の関連が糖尿病透析患者において示唆された。MMSE が低値の糖尿病患者において血糖変動値が大きかったことは、原因か結果は不明ではあるが、血糖変動と不眠が関連している可能性がある。